キャラクター名: 藤棚 灯織

プレイヤー名:

シンドローム	ハヌマーン サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	中学生/UGNエージェント
オプショナル	モルフェウス	年齢	14	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	憎悪	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	仲間の死	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
[ロイスNo.06：戦闘用人格/デュアルフェイス]	P	N		
"旺弾幕"角津 悠仁	P 憧憬	N 恥辱		
"兄"脹相	P 尊敬	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
インフィニティウェポン	2	3	MN	至近	自身	自動	-	
効果：	攻+[Lv*3+7]、G値3の白兵武器作成							
氷の回廊	1	1	MN	至近	自身	自動	-	
効果：	〔飛行〕状態で戦闘移動、移動距離+[Lv*2]							
氷炎の剣	2	3	MN	至近	自身	自動	-	
効果：	命-2、攻+[Lv*2+8]、G値6の白兵武器作成							
地獄の氷炎	2	2	MN	至近	自身	自動	Lm	
効果：	↑と組み合わせ、攻orG値+[Lv*3]							
コンセントレイト：Mo	2	2	MJ	-	-	Syn	-	
効果：	C値-Lv(下限値7)							
咎人の剣	2	4	MJ	-	-	白兵	Lm	
効果：	攻+[Lv*5]、《IF》を使用時のみ							
炎神の怒り	1	3	MJ	武器	-	肉体	-	
効果：	判定D+[Lv+1]個、HP3点消費							
特異体：マルチウェポン	1	3	MJ	武器	-	白/射	-/Emb	
効果：	武器ふたつを合計して攻撃、達成値-[Lv-5]							
エンブレム消費枠	2	-	-	-	-	-	-	
効果：	GMへ：これで20点消費							
真偽感知	★	2	MJ	視界	単体	自動	-	
効果：	――嘘を吐くなら、もう少しマシなのにしたら？							
壁抜け	★	-	MJ	至近	自身	自動	-	
効果：	狭いところに閉じ込められるのは嫌！							
無上厨師	★	-	MJ	至近	効果	自動	-	
効果：	料理は得意ですよ、あまり人には振る舞ったりしませんけど。							
効果：								

■ひとこと
「わたしが戦う理由は、"贖罪"です」
「みんなそれぞれに、大事なひとがいる。……そのためにひとりでも多くの命を救うためなら、わたしは戦えます！」

■性格と概略
名前の読みは「ふじだな/ヒオリ」。愛称はひおりん、ひお、ひーちゃんとか。
性格は内気で臆病、意志薄弱。押しに弱く、頼み事を断れないタイプ。
人見知りは激しいが、慣れた人に対しては表情豊か。親しくなっても礼節を忘れない。

所謂"生存者罪責感/サバイバーズ・ギルト"と呼ばれる症状を、心根の深くに持つ。
襲撃によって頓挫した"アンブラ計画"に基づく実験体であり、同研究所における唯一の生き残り。
この計画は3つまでとされるオーヴァードに4つ以上のシンドロームの発現を促す計画であり、
彼女はその実験の結果生まれた、都合4つのシンドロームを宿す唯一の成功体でもある。
それ故に保護された後も通常のチルドレンとも異なる扱いを長く受けており、
ある意味で世間知らずであり、外の世界に対する漫然とした恐怖を抱いている。

■ロイス対象や人間関係に関して
"アンブラ計画"関係者
研究者や周囲の実験体達とは穏当な関係を築いていた為、所謂実験体としてのコンプレックスは持っていない。
それどころか唯一の成功体であった為か、比較的厚遇されていた経緯があり、周囲からも一目置かれていたとか。